

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 地域で支え合う福祉の促進

施策コード 030101

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 障害福祉総務課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり（安心・健康）	節 第1節 地域福祉
	施策	地域で支え合う福祉の促進	

**基本方針**

- ・小地域ネットワーク活動を基盤に、暮らしの安心につながる地域で支え合う仕組み（地域福祉セーフティネット）の構築に努めます。
- ・地域福祉情報を提供するなど情報の発信に努めるとともに、地域住民・各種団体の交流を促進し、市民の福祉意識の醸成に努めます。
- ・地域福祉の担い手となるボランティア団体・NPO法人などの育成や指導者の養成を図ります。
- ・地域福祉を推進する拠点づくりに努めます。

**現況と課題**

- ・小地域ネットワーク活動については、すべての小学校区でネットワーク化されていますが、高齢者を対象にスタートした経過があることやボランティアの人数のことなどの課題がありますが、障害のある人及びひとり親家庭などの要援護者への広がりが求められています。
- ・小地域ネットワーク活動を基盤に各種機関及び団体等との連携強化を図り、地域福祉セーフティネットの構築が求められています。
- ・社会福祉協議会をはじめ、各種団体からの情報の発信が求められています。
- ・市と社会福祉協議会をはじめ、各種団体との協働の推進、活動の支援が求められています。
- ・ボランティア団体・NPO法人などの育成、市民の福祉意識の醸成が求められています。

**施策目標**

対象（誰を、何を、どこを）

市民

**意図（どのような状態にしたいのか）**

日常的な助け合い、支え合いのしくみづくりを進め、一人ひとりが地域に愛情を持ち、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにします。

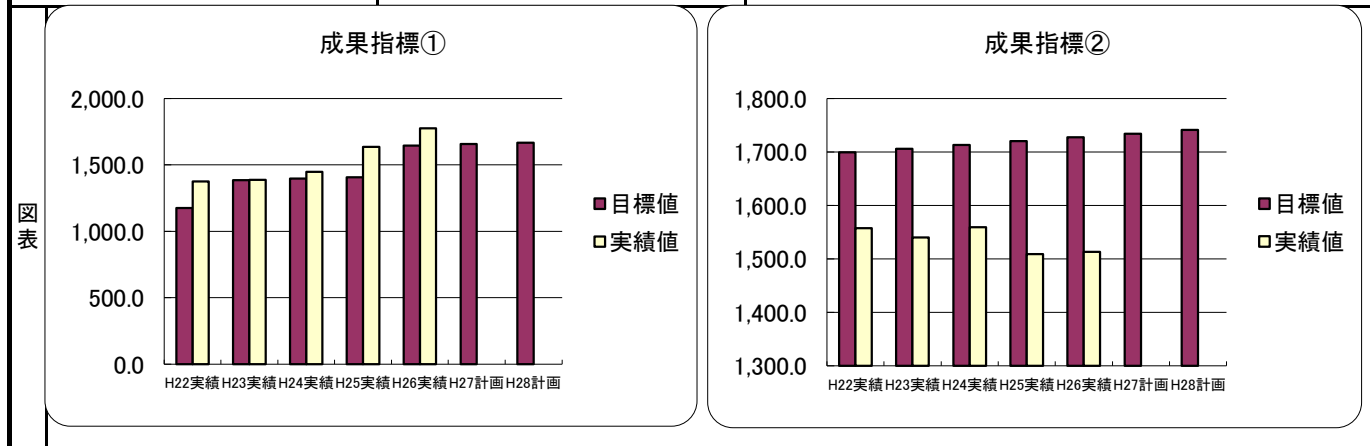
3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			56.9				
重要度（偏差値）			48.9				

4. 施策にかかるコスト								
		単位	H25決算	H26決算				
コストの内訳	人件費	千円	83,908	95,393				
	事業費		81,380	126,344				
	フルコスト		165,288	221,737				
財源の内訳	国庫支出金	千円	0	342				
	府支出金		42,138	42,813				
	市債		0	0				
	その他		53,138	60,146				
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		70,012	118,436				
	一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）		-13,896	23,043				

5. 施策の成果指標

① 成果指標 1 小地域ネットワーク活動のグループ年間支援回数							
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	1,176.0	1,386.0	1,396.0	1,406.0	1,646.0	1,656.0	1,666.0
実績値	1,376.0	1,388.0	1,448.0	1,636.0	1,775.0		
達成度	117.0	100.14	103.72	116.35	107.83		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
各地区福祉委員会において実施しているいきいきサロンや世代間交流会、子育てサロンなどのグループ活動の回数を把握することにより、地域住民同士がつながりを持つことができる機会の多少がわかり、また、支援を必要としている人の発見及び支援体制の広がりが見える。		平成23年度時点で目標値の変更を行っている。平成22年度実績を基準とし、平成30年度までに地区福祉委員会の80支部すべてにおいて、1活動ずつ増やすことを目標としていたが、グループ支援活動の予想を上回る進展により、H23年度以降毎年目標値を超過している実績から、改めて当初の設定を勘案し、H25の実績をベースに1年で10活動ずつ増やしていくことを目標としてH30年度の目標値を1,686回と改めた。		社会的孤立や地域の連帯意識の低下が深刻な社会問題となっており、各地区の福祉支援者（団体）が個別訪問を強化し、交流の必要性について説明し、継続して案内した。その結果、活動に対する関心を持つ住民が増加し、それに伴い支援活動回数も増加した。			

② 成果指標 2 小地域ネットワーク活動のボランティア総登録者数							
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	1,699.0	1,706.0	1,713.0	1,720.0	1,727.0	1,734.0	1,741.0
実績値	1,557.0	1,540.0	1,559.0	1,509.0	1,513.0		
達成度	91.64	90.26	91.0	87.73	87.6		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
ボランティア登録者を把握することにより、住民の地域福祉に対する理解や関心の高さと地域の要援護者に対する支援体制の広がりが見える。		過去の実績を基本にして、10年後まで毎年、14地区福祉委員会の半分の支部において、それぞれ1人ずつ登録者の増加を目標値として設定した。		社会福祉協議会が中心となり、関係機関や団体、志のある住民に対し、ボランティアの必要性を説明し、活動への参加を呼び掛けた結果、若干ではあるが増加したが、近年の傾向をみると、参加できる人はほとんどが高齢もしくは高齢にせまった人たちであり、高齢者が高齢者を見守るといった社会構造が常態化してきており、若年層の理解・協力を得られるような対策を引き続き検討していかなければならない。			



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>
施策に対する市民ニーズ		(3点中) <b>3</b>	高齢者単身世帯をはじめ、福祉的な支援を必要としている世帯は市内各地区において増加してきており、そのような状況の中で誰もが安心して暮らしていける社会を形成するためには、住民同士のつながりが重要であることへの地域の理解は浸透してきている。また、各地域での住民座談会等により、具体的なニーズなども把握する場が定着しており、地域での支えあいの基盤づくりのための活動支援への期待は大きい。
施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)		(3点中) <b>3</b>	支援を必要とする人たちの社会的孤立が問題視されている中、国においては、平成27年4月より生活困窮者自立支援法が施行されている。同法では地域社会から孤立している生活困窮者の救済支援のための事業が開始される場所であるが当市では既にコミュニティソーシャルワーカー配置事業を支援し、このような問題にも対応している部分もある。今後は、これらの専門相談機関の間での連携を深めて行くことも重要である。

	合計点	(10点中) <b>9点</b>	
	総合評価	<b>A</b>	核家族化や高齢化の進行など社会構造の変容が進むことで、社会的孤立や福祉問題の多様化が顕著となる中、地域福祉の担い手が十分に確保できているとは言い難く、コミュニティソーシャルワーカーの役割が重要となる。彼らの活動の活発化と住民の相互扶助精神の高まりを促す取組が一層必要となる。また、併せて平成27年度から実施される地域福祉計画を踏まえ関連部署との効果的な連携強化が今後は必要となってくる。
	二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）	<b>A</b>	小地域ネットワーク活動支援者の拡充に努めること。
	三次評価（理事者による評価）	<b>B</b>	小地域ネットワーク活動支援者の拡充に努めること。 「地域の絆」事業に関する成果指標の追加の検討が必要である。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01013900	民生委員児童委員活動事業	2,271	3,495	3,312	3,710	B
2	01014400	戦没者援護事業	1,898	521	496	595	B
3	01014500	ふれあいのまちづくり事業	705	11,094	1	11,094	B
4	01014940	コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	1,723	19,200	0	27,500	B
5	01015200	共同浴場施設管理事業	1,175	12,645	12,645	13,220	B
6	01015600	地域福祉推進事業	7,050	76,162	71,665	37,359	B
7	01081730	市民後見推進事業	3,072	342	0	668	A
8	01082300	広域福祉共同処理事務事業	77,499	2,885	-65,076	5,820	A
合計			95,393	126,344	23,043	99,966	